

②1 (和歌五首)

年次不詳

「^{なりさだ}齊省」と実名が書かれていることから、松平紀五郎齊省の和歌が書かれた史料とみられます。

井田^{えみこ}笑子家文書は、笑子氏の実家である旧前橋藩士の渡辺家関係の文書です。家祖とされる渡辺^{もとちか}貞元は、京都で医業を学び、白河藩主松平基知に招かれ仕官しました。その後子孫は侍医、大納戸奉行、御蔵奉行、御使番、御武具奉行などを務めています。渡辺家には藩の侍医を務めた人物もいることから、そうした縁で入手した可能性があります。

井田笑子家文書 P8001 No. 33



【史料②】（和歌五首）より

齊省

瀧落葉

たつた山落る紅葉に
 風そへて千入（ちしお）染めたる
 瀧つ川波

庭残菊

まかきなる千々の草木も
 かれはてとうつろふ菊や
 猶をしむらん